

イノシシの牙による刺創

「僻地で世界最先端」西伊豆健育会病院 H30.12 仲田和正

先日 12 月 9 日、日曜日の夕食直前、当直医から家に電話がかかってきました。猪による外傷が 2 名運び込まれたのですぐ来てくれと言うのです。小生の家から病院までは歩いて 2 分です。猪の牙による外傷は時折見ますが、今回のようなメッタ突きのひどい外傷は初めてみました。貴重な経験であると思いましたので共有します。

最重要点

- ・イノシシの牙で下から上へ突き上げられ盲管創となる。
- ・牙尖端は三角錐で鋭利である。
- ・手負いのイノシシは動くものなら車でも襲う。
- ・銃で撃つと外耳道前で即死、腋下から肋骨 3 本下で心臓だが撃っても 100m 走る。

患者さんは 72 歳男性と 73 歳男性でした。

皆で、山で猪の駆除を行っていました。猪は、夏は大きな木の根元の木陰側、冬は風の当たらないシダの密生した下に腹が入る位の穴を掘って隠れているのだそうです。シダの下を覗き込むとこちらを向う猪の目が見えたため、犬を仕掛けました。しかし犬も怖いので遠巻きにしてワンワン吠えるだけです。

そこで 5m ほどまで近づきライフルを向けたところ 120 kg 程の大イノシシが猛然とダッシュ、コンマ数秒で襲い掛かってきました。

右大腿後部を牙で 2 回突き上げられ（しゃくりあげられ）取っ組み合いながら 5m 転がりました。取っ組み合ったまま本人が「フーッ」と大声を出したところ怯んで一瞬離れました。そこへ同僚が慌てて頭めがけてライフルを撃ったのですが、鼻先に当たり、再び襲い掛かってきました。腹を刺されないように後ろ向きに丸くなったところを、背部 2 か所牙で刺されました。

73 歳の同僚が猪に組み付き、右大腿を牙でさされ 20 cm ほどの裂傷を負いました。そのまま他の同僚がイノシシの頭と腹にライフルを発射しようやく射止めることができました。

イノシシにとどめを撃つ場合、外耳道の前なら一発で即死するのだそうです。一方、腋下から肋骨 3 本下を撃つと心臓に当たりますがこの場合、即死でなく 100m ほど走ってから倒れるとのこと。イノシシが犬に追いかけて横に走っている時は、イノシシの前方 80 cm から 100 cm 位のところを撃つと頭に当たります。

当院来院時、72歳男性の傷は、上背部に径10cmの傷が2か所、牙は深く入り、指を入れると肋骨を直接触りました。しかし肺には至りませんでした。左大腿後部にも15cmと10cm程の裂創が2か所あり、その一つからの出血がひどく来院直後Hb16.9でしたが手術終了時には10.3、翌日には9.0まで低下しました。大腿深動脈の損傷かと思ったのですが、動脈損傷自体はなく大腿二頭筋からの出血でした。

手術直前CEZ2g点滴し内科の先生と二人で手分けして洗浄、デブリドマン、縫合を行いました。

動物咬傷に準じてSBT/ABPCの方が良かったのかもしれない。

術中、2, 3回血圧が60以下となり意識消失しナースがパニックになりました。

O型Rh+輸血も準備しましたがHb10程度でしたので乳酸リンゲル全開のみで輸血は行いませんでした。

イノシシによる外傷は時折見ますがこれほどの、牙によるメッタ刺しは初めてでした。

もう1人の73歳男性は右大腿の20cmの挫創だけでしたので外来で洗浄、縫合して外来followとしました。

患者さんがイノシシの牙を下さいました（ちょっと嬉しい）。

10cm位で弯曲していますが驚いたのは先端が鋭い三角錐であったことでした。

これで突かれたらひとたまりもないと思いました。

突かれるとカミソリのように切れるとのことでした。

中は空洞ですが先端は密になっています。

下から上へしゃくり上げますから深い傷になるようです。

特に怖いのは手負いのイノシシで里に下りると動くものならバスにでも体当たりします。

数か月前、南伊豆で猪が救急車に体当たりして病院への搬送ができなくなり

救急車を替えたこともありました。

以前、当院から200m位のところで山から降りて来た手負いのイノシシが小学1年生を追いかけ下腿の牙挫創で当院に入院したことがありました。

その後、この子は鬼ごっこなどで誰かに追いかけられると突然、猛烈な恐怖を感じるPTSDが大きくなってからもありました。

一方、鹿の場合は数mジャンプしますので射止めるのが難しく、落下予想地点に銃を固定して発射します。銃を横に移動させながらだとまず当たらないそうです。

また鹿は頭が小さくて頭に当てるのは困難なので腹を狙います。

患者さんの話が興味深くて回診の度、根掘り葉掘り聞いています。

猟銃免許取得は大変で合格率 2 割位です。

まず定職があり信用のある名士でなければなりません。

前科があると論外、無職だと「お前、何考えてんだ」と相手にしてくれません。

精神科や神経内科の診断書も必要です。

年 2 回のクレー射撃が義務付けられています。クレー射撃は皿が同時に 3 方に飛びそれを撃つのですが、この患者さんは 25 回のうち 3 回位しか当たらないとのこと。

また 1 年間に撃った弾丸全ての理由を警察に聞かれます。

また残りの弾丸数もチェックされます。

というわけで皆様、山でイノシシを見たら近寄らず一目散に逃げて下さい。

それでは最重要点 4 つの怒涛の反復です。

最重要点

- ・イノシシの牙で下から上へ突き上げられ盲管創となる。
- ・牙尖端は三角錐で鋭利である。
- ・手負いのイノシシは動くものなら車でも襲う。
- ・銃で撃つと外耳道前で即死、腋下から肋骨 3 本下で心臓だが撃っても 100m 走る。